

### 敦賀発電所 1 号機の原子炉起動について

当社、敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格出力 35 万 7 千キロワット）は、平成 8 年 11 月 21 日から第 24 回定期検査を実施していましたが、明日 2 月 1 日夕刻に原子炉を起動し、同日夜臨界となる予定です。

今後は諸試験を実施し、2 月上旬に定期検査の最終段階である調整運転を開始し、2 月下旬には通商産業省の最終検査を受けて営業運転を再開する予定です。

以上

---

#### （主な定期検査の概要）

##### 1. 燃料集合体検査結果

燃料集合体の外観検査を実施した結果、異常は認められなかった。

燃料集合体全数 308 体のうち、計画的に 64 体を新燃料集合体（すべて高燃焼度燃料集合体）に取り替えました。

##### 2. 主要改造工事等

###### （1）原子炉自動停止用地震計設置工事

現在、原子炉建屋 1 階に設置されている水平方向の原子炉自動停止用地震計（加速度検出器；4 台）に加え、原子炉建屋地下 1 階（最下階）に、新たに水平方向の原子炉自動停止用地震計（加速度検出器；4 台）、鉛直方向の原子炉自動停止用地震計（加速度検出器；4 台）を設置した。なお、新たに設置する地震計の原子炉自動停止設定値については、水平方向 160 ガル以下、鉛直方向 80 ガル以下に設定しました。

###### （2）低圧蒸気タービン内部車室修繕工事

低圧蒸気タービン内部車室水平継ぎ手面及び補強リブ溶接部の浸食による減肉が認められた箇所について、肉盛溶接を実施し、機能維持を図りました。

(3) 原子炉再循環ポンプメカニカルシールシールパージ水流路変更工事

原子炉再循環ポンプの軸封部（メカニカルシール）の機能低下により、平成8年8月と10月の2回原子炉を停止したことに鑑み、原子炉再循環ポンプ（3台）のメカニカルシールのシールパージ水流路を変更し、微小な錆等の異物を含んだ炉水がメカニカルシール内に混入しにくい構造とする工事を行いました。

3. 次回定期検査の予定 平成10年 春頃